

学院の近況



江差町の今年の夏は、昨年と比べ蒸し暑い日が続いています。

7月に大きなイベントが2つありました。「第43回全道北前船競漕大会（ペイロン大会）」への参加と「令和7年度地域型オープンキャンパス（江差高看まつり）」の開催です。

かもめ島まつりに合わせて7月6日に開催された「ペイロン大会」ですが、1・2年生が主体となり「江差高看チーム」として参戦しました。結果は残念でしたが、地域イベントの盛り上がりにより一役買うことができたと思いますので、来年は完漕を目指して再チャレンジしてもらいたいです。

7月26日開催の「江差高看まつり」ですが、今年は110名もの方々にご来場いただき、無事に楽しく終えることができました。ご協力いただいた関係機関や団体の皆様、大変ありがとうございました。今年は学生全員が参加し、開催準備や当日の来場者へのおもてなしなど、一生懸命頑張りました。

夏休み期間中はしっかりとリフレッシュをし、始業となる8月25日から元気な姿で学院に戻ってきてほしいと思います。
(学院長：夕下 司)



令和8年度学生募集(入試)



令和8年度の入試スケジュールが決定しました。多くの方々の受験をお待ちしています。

※指定校推薦の導入や社会人入試の回数増など、入試制度の見直しを行いました。

試験区分	募集期間	試験日	合格発表
推薦入試(指定校・一般)	9/22(月)～10/3(金)	10/25(土)	11/17(月)
社会人入試(I期)	9/1(月)～10/3(金)	10/25(土)	11/17(月)
一般入試(I期)	11/25(火)～12/8(月)	1/13(火)	2/13(金)
社会人入試(II期)	11/4(火)～12/8(月)	1/13(火)	2/13(金)
一般入試(II期)	2/17(火)～3/11(水)	3/18(水)	3/19(木)

「第43回 全道北前船競漕大会」に参戦！

7月6日(日)、6年ぶりに開催された全道北前船競漕大会に、学生6名・教員2名で参加しました。過去、看護学院は参加しても自力でゴールしたことはありませんでした。今回、初めて参加する人ばかりでしたが、頑張って船を漕いでいました。コースを外れたり、他チームの進路を妨害しそうになったりと、うまく漕げない中、何とか折り返し地点まで行きましたが、折り返すことができずに、最終的には、大会役員のボートに引っ張ってもらってのゴールとなりました。

残念な結果となりましたが、みんな最後まで頑張っていました。

来年は、今回の経験を活かし自力でゴールしてほしいと思います。

ちなみに、大会長賞を受賞しました！！！！

(副学院長兼事務長：岸部圭介)



地域型オープンキャンパス

「江差高看まつり」を開催！

- 日 時 令和7年7月26日（土）11時～14時
- 場 所 江差高等看護学院
- 主 催 江差高看地域型オープンキャンパス実行委員会
（江差高等看護学院・学生自治会・同窓会、江差町、NPO法人まちカフェ江差、江差高校、カウンセリングオフィス静律、道立江差病院、北海道檜山振興局、北海道保健福祉部）
- 特別協賛 檜山町村会、江差高等看護学院同窓会、(株)北都DM、山中千晴
- 来場者数 110人



キャンパスツアー



モデル人形体験



撮影会



看護・患者体験



ミニ縁日①



ミニ縁日②



健康増進コーナー



地域食堂



受付



お菓子まき

学生自治会から

今回は3回目の実施でしたが、ミニ縁日やキャンパスツアーなどに学生全員で取り組むことができ、たくさんの方が来場してくれて、大成功で終わることができました。

これからも、地域の皆さんが笑顔で楽しいと思ってもらえるような高看まつりを作りたいと思います。

学生自治会長 古山 由乃

1年生

6月下旬にクラスの親交を深めるためレクリエーションを行い、モルック競技や茶話会をして楽しく過ごしました。7月に入り、紋別高看との交流会が行われ、学生達からは「他校の学生と交流して新鮮だった」「今度は実際に会って話をしたい」などの感想が聞かれました。また、7月は、試験勉強やペイロン大会、江差高校体育祭ボランティアへの参加、江差高看まつりの準備など、大変忙しく過ごしています。

その中で、このクラスの成長を感じた場面がありました。それは、6年ぶりに開かれたペイロン大会でのことです。1年生は初めての出場ということもあり、船でコースを完漕することはできなかつたのですが、最後まで諦めずにオールを漕ぐ姿に、私たち教員の心は動かされました。しかし、学生達は、とても冷静で気が付くと反省会が開かれ、次年度に向けての改善点が熱く語られていました。私の記憶では、大会参加に乗り気ではなかつたはずですが、やると決めたら、全力を注ぎ目標に向かってクラスが一丸となっているではありませんか……。このように私の予想を超えてくる1年生に、ワクワクが隠せません。

さて、夏期休暇明けは、初めての実習も控えており、看護学生生活が本格化してきます。

これからも、学生が伸び伸びと学習できる環境を整えていきたいと思ひます。

《1学年担当：臺坂恵子》

2年生

2年生は6月16日から7月2日まで基礎実習Ⅱを行いました。看護過程をはじめて展開しながら、事前に練習した技術を少し実践しての実習でした。緊張しながらも、これまで学んだこととのつながりや学習の仕方・関連付け方を理解でき、学びが大きかつたようです。

実習後は、6年ぶりに開催されたペイロン大会に1～2年生で参加し、国家試験ガイダンスや国家試験模試を受け、大掃除、学祭の準備と大忙しの1ヶ月でした。ペイロン大会はコースに恵まれず、惜しくもタイムアウトでしたが、イケメン賞を選ぶ大役も預かりました。国家試験ガイダンスでは、1～2年生合同でグループワークを行い、より学習の仕方が明確になり、模擬試験を受けた後の結果の読み方、さらに学習の仕方も学びました。大掃除は教員と共に一致団結してスピードも上がり、学祭の準備もより加速しました。高看まつりでは、初めて3学年全員が揃って参加し、来場者を飽きさせることなく進めることができ、とても頼もしかつたです。夏休みはしっかりとリフレッシュをして元気に戻ってきてください。《2学年担当：金田いづみ》



3年生

早いもので、3年生の夏休みを迎えました。4月には6クールの実習に不安の声が聞かれていましたが、4クールを終えた今、6人からは「あっという間だった」「それぞれの実習先で学ぶことがたくさんあつた」と笑顔の報告を受け、患者さんとの関わりを通して大切な気づきや学びを得ているのだなあとうれしく感じています。実習は、楽しいことだけではありません。大変なこと、つらいことの方が多いかも知れませんが、かつて私もそうでしたが。しかし、それは自分が看護師として成長するために必要な過程なのだと思います。患者さんに必要な看護を考えること、看護技術を上達させること、チームの一員として責任と自覚を持つこと、それらは決して簡単なことではないからです。今はこの大変なことから逃げず、自己と向き合い、看護の感性を研ぎ澄まして欲しいと思ひます。この夏休みはリフレッシュもしつつ、国家試験の学習をしっかりと進めてくださいね。

保護者の皆様には、8月上旬に保護者面談を予定しています。実習の取組状況や国試の学習状況を踏まえた説明をさせていただく予定となっておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。《3学年担当：竹田里美》



全員で国試合格するぞ!の気合いの〇!!

札医大病院・コドモックル実習報告

～ 江差高看の魅力あるカリキュラム ～

3年生6名が、7月29～30日の一泊二日で、札幌医科大学附属病院と北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）の見学実習を行い、「高度医療の実際と一般医療との連携を学び看護師の役割を学ぶ」ことを目的に、病院の機能と看護の特性について説明を受け、施設を見学しました。

札医大病院では、「高度急性期医療の中では特に予見する力や多職種連携の必要性を感じた」「救命時の看護は勿論、退院後の対象の生活を描いて看護することが大切」「重症度・緊急度が高い対象に看護するためには、急性期～終末期看護までの幅広い知識や技術が必要」などの気づきがありました。また、実習中に「DMAT」が発動する場面に遭遇し、リアリティある学習となりました。

コドモックルでは、「病気や治療による発達課題達成への影響を最小にするよう看護する必要があり、多職種（保育士・教師）との連携・協働が大切」「患児をケアする家族への支援が重要で、多様な家族の形を受け入れ、家族形成に働き掛けていくことが必要」などの気づきがありました。また、「PICU・NICU・GCU」を見学し、小さな身体で一生懸命に生きようと闘っている患児を目の当たりにし、学生の心は大きく揺さぶられ、命の尊さを考える生きた実習となりました。

さらには、高度医療で働く看護師の姿やそこでの葛藤とやりがいについてお聴きし、自分の将来のキャリア（専門看護師・認定看護師等）についても考える機会になったようで、夏期休暇明けの「実習レポート」が待ち遠しいです。

今回で3年目となる取組でしたが、今後も‘道立の強み’を活かした実習として継続していく予定です。

（実習係：臺坂恵子）



スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

- 日程 オンライン 8/28（木）、9/25（木） 16:30～18:00
全員面談 9/11（木） ※3年生（3名）、2年生

- 予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

- ①氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪(すわ)先生

7/1付け新規採用職員

【講師 高田 伸一】

地域包括支援センターで、高齢者支援を主に行ってきました。教員経験はありませんが、これまでの経験を学生に還元したいと思います。よろしく願いいたします。

スポーツ活動

学生及び職員の運動不足の解消や交流を目的に、定期的（毎週水曜の放課後）にミニバレーを実施しています。



「学院閉庁日」のお知らせ

8/12(火)～15(金)の4日間は「学院閉庁日」です。

この期間中（前後の土日祝を含む）に学院への連絡事項がある場合は、学生や保護者の方は学年担当教員に、その他関係機関等の方々は、thofuku.esakango1@pref.hokkaido.lg.jpにご連絡ください。